

## ( 8 ) 財団法人 鳥取県臓器バンク経営状況報告書

### 一 法人の概要

- |             |  |
|-------------|--|
| 1 名 称       | 財団法人 鳥取県臓器バンク  |
| 2 目 的       | 臓器移植の普及を図るため、県内において臓器移植に係る啓発及び助成等を行い、もって県民の健康の増進及び福祉の向上に寄与することを目的とする。  |
| 3 組織変更認可年月日 | 平成 11 年 3 月 25 日<br>(財団法人鳥取県腎バンク設立許可年月日 平成 6 年 3 月 23 日)   |
| 4 組織変更登記年月日 | 平成 11 年 4 月 1 日<br>(財団法人鳥取県腎バンク設立登記年月日 平成 6 年 4 月 1 日)   |
| 5 基 本 財 産   | 出えん金 88,630,579 円<br>鳥取県出えん金 52,640,000 円<br>市町村出えん金 24,000,000 円<br>民間出えん金 11,990,579 円   |
| 6 役 員       | 理 事 17人 監 事 1人<br>理 事 長 岡 本 公 男 ( 社団法人鳥取県医師会会長 )<br>副理事長 井 藤 久 雄 ( 国立大学法人鳥取大学副学長 )<br>常務理事 田 中 謙 ( 鳥取県福祉保健部長 )<br>理 事 林 伸 伍 ( 社団法人鳥取県歯科医師会会長 )<br>" 小 林 健 治 ( 社団法人鳥取県薬剤師会会長 )<br>" 高 橋 千 寛 ( 米子医療センター泌尿器科医長 )<br>" 根 本 良 介 ( 鳥取県立中央病院副院長 )<br>" 竹 内 功 ( 鳥取県市長会会長 )<br>" 坂 本 昭 文 ( 鳥取県町村会会長 )<br>" 長 井 勇喜夫 ( 鳥取県銀行協会会長 )<br>" 水 根 富士雄 ( 鳥取県商工会連合会専務理事 )<br>" 有 田 勝 徳 ( 鳥取県中小企業団体中央会専務理事 )<br>" 御 船 幹 雄 ( ライオンズクラブ 336- B 地区 7 区 代表 )<br>" 中 岡 明 久 ( 山陰労災病院腎代謝内科部長 ) |

理事 荒田久男（鳥取県腎友会副会長）

” 渡邊淳子（博愛病院院長）

” 塩澤洋子（社団法人鳥取県看護協会会長）

監事 藤本英興（鳥取信用金庫理事長）

7 職員 3人

8 事務所 鳥取市東町一丁目220番地

## 二 平成18年度事業実施状況

### 1 臓器移植の普及啓発、臓器提供意思表示カードの配布

- (1) 街頭キャンペーンや各種団体が開催するイベントへの参加を通じて、臓器提供意思表示カード等を配布することにより、臓器移植医療への理解促進を図った。
- (2) 臓器移植推進月間(10月)の開催広告を朝日新聞に掲載した。また、推進月間の間、JR車輦内(52車輦)にPRポスターを掲出した。
- (3) 平成17年9月より日ノ丸バスの車体外側面に臓器提供の意思表示を呼びかける広告を掲出していたが、平成18年度は増便(県内3台 6台)を行い、広報強化に努めた。
- (4) 臓器移植推進月間中に臓器提供意思表示カードの周知・所持状況についてのアンケート調査を実施した。調査結果は、医療関係者等へ情報提供し啓発資料として活用するほか、ホームページにて一般公開した。
- (5) ホームページを更新し、より多くの方へ鳥取県の臓器移植医療の現状や臓器提供意思表示カード等について紹介した。
- (6) 年々増加する人工透析患者数を把握するため、人工透析施設の協力を得て人工透析の現況に関する調査を行った。

### 2 鳥取県腎友会への助成

人工透析患者とその家族で組織している鳥取県腎友会の学習会(年3回)に対して助成した。

### 3 臓器移植コーディネーターの活動

#### (1) 日常業務

県内臓器提供施設の医療従事者に対し臓器移植に関する普及啓発活動を行い、臓器提供協力の拡充に努めるとともに、定期的に巡回し更に理解と協力を得ることに努めた。

病院、各種団体等での講演を行うことにより、臓器移植医療への理解、協力を求めた。

#### (2) 臓器提供発生業務

県内でのドナー情報なし。

#### (3) その他

臓器バンクの活動を報告したバンクだよりを、理事会での決算承認後作成し、賛助会員等に配布した。

**財団法人 鳥取県臓器バンク**  
**収 支 計 算 書**

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
収             入	基本財産運用収入	1,526,000	1,574,643	48,643	
	1 基本財産利息収入	1,526,000	1,574,643	48,643	
	会費収入	1,362,000	1,362,000	0	
	1 賛助会員会費収入	1,362,000	1,362,000	0	
	寄附金収入	1,000	0	1,000	
	1 寄附金収入	1,000	0	1,000	
	補助金等収入	8,268,000	7,251,380	1,016,620	
	1 県補助金収入	8,173,000	7,166,855	1,006,145	
	2 (社)日本臓器移植ネットワーク補助金収入	95,000	84,525	10,475	
	雑収入	181,000	182,808	1,808	
	1 雑収入	181,000	182,808	1,808	
	特定資産取崩収入	1,000	112,020	111,020	
	1 退職給与引当金取崩収入	1,000	112,020	111,020	
	当期収入合計(A)	11,339,000	10,482,851	856,149	
	前期繰越収支差額	3,018,000	3,017,608	392	
	収入合計(B)	14,357,000	13,500,459	856,541	

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
	円	円	円	
管理費支出	8,124,000	7,778,720	345,280	
1 職員給与費	5,807,000	5,759,943	47,057	
2 事務局費	2,232,000	1,993,755	238,245	
3 会議費	85,000	25,022	59,978	
事業費支出	4,894,000	2,084,656	2,809,344	
1 普及啓発費	3,331,000	1,475,065	1,855,935	
2 臓器移植助成費	20,000	0	20,000	
3 コーディネーター活動費	1,543,000	609,591	933,409	
支				
出				
当期支出合計(C)	13,018,000	9,863,376	3,154,624	
当期収支差額(A) - (C)	1,679,000	619,475	2,298,475	
次期繰越収支差額(B) - (C)	1,339,000	3,637,083	2,298,083	

**財団法人 鳥取県臓器バンク**  
**貸借対照表**

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	5,049,648	負 債	1,412,565
1 現金預金	5,036,498	1 流動負債	1,412,565
2 仮払金	13,150	(1) 未払金	1,321,578
		(2) 預り金	90,987
固定資産	88,630,579		
1 基本財産	88,630,579	2 固定負債	85,200
(1) 基本財産定期預金	8,630,579	(1) 退職給与引当金	85,200
(2) 基本財産投資有価証券	80,000,000		
2 その他の固定資産	85,200	正味財産	92,267,662
(1) 退職給与引当預金	85,200	(うち基本金)	( 88,630,579 )
		(当期正味財産増加額)	( 619,475 )
合 計	93,765,427	合 計	93,765,427

### 三 平成19年度事業計画

#### 1 臓器移植の普及のための啓発

- (1) 臓器移植推進街頭キャンペーンの開催、県、市町村及びライオンズクラブ等が開催するイベントや講演会等への参加を通じて、臓器移植の普及啓発を行う。
- (2) 臓器提供意思表示カードや啓発パンフレットを県・市町村などの行政機関、医療機関、学校及び公民館等に配布する。
- (3) テレビ・新聞・県市町村広報・インターネット・ケーブルテレビ等の媒体を活用して広報を行う。
- (4) 移植コーディネーターによる県内各医療機関の院内研修での講演や定期的な巡回により、臓器提供に対する理解及び協力を得る。また、資料を作成・配布し、各医療機関へ情報提供する。
- (5) 教育現場への普及啓発活動の協力を得られるよう働きかけ、「臓器移植出前講座」を実施することにより若年世代又は教職員等の臓器移植に関する正しい理解を深める。
- (6) 最も需要の多い腎移植を中心に県内医療機関での臓器移植・提供を進めるため、賛同を得られる医療機関を対象に検討会を開催する。

#### 2 臓器移植に係る助成

- (1) 鳥取県腎友会の学習会経費に対して助成する。
- (2) 臓器提供が行われた時には、臓器提供者の遺族に対し香典を贈る。

#### 3 社団法人日本臓器移植ネットワークが行う臓器提供のあっせんに対する協力

臓器移植コーディネーターは、社団法人日本臓器移植ネットワーク西日本支部と連携しながら、死体の臓器提供のあっせんに対して以下のような活動をする。

- (1) 臓器移植希望者に対し、登録申請のための支援を行う。
- (2) 西日本支部及び主治医と連絡を取りつつ、臓器提供可能者の脳死判定及び臓器提供に関する意思を確認するとともに、その家族に対して臓器提供についての説明を行う。
- (3) 組織適合性検査のため、臓器提供候補者の血液の確保とともにHLA検査センターへの血液搬送又はその手配を行う。

**財団法人 鳥取県臓器バンク**  
**収 支 予 算 書**

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

	科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	基本財産運用収入	809	1,526	717	
	1 基本財産利息収入	809	1,526	717	
	会費収入	1,000	1,362	362	
	1 賛助会員会費収入	1,000	1,362	362	
	寄附金収入	1	1	0	
	1 寄附金収入	1	1	0	
収	補助金等収入	8,510	8,268	242	
	1 県補助金収入	8,415	8,173	242	
	2 (社)日本臓器移植ネットワーク補助金収入	95	95	0	
	雑収入	1	181	180	
	1 雑収入	1	181	180	
	特定資産取崩収入	1	1	0	
	1 退職給与引当金取崩収入	1	1	0	
入	当期収入合計(A)	10,322	11,339	1,017	
	前期繰越収支差額	1,339	3,018	1,679	
	収入合計(B)	11,661	14,357	2,696	

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
	管理費支出	8,421	8,124	297	
	1 職員給与費	5,845	5,807	38	
	2 事務局費	2,483	2,232	251	
	3 会議費	93	85	8	
	事業費支出	2,843	4,894	2,051	
	1 普及啓発費	1,280	3,331	2,051	
	2 臓器移植助成費	20	20	0	
	3 コーディネーター活動費	1,543	1,543	0	
支	予備費支出	397	0	397	
出					
	当期支出合計(C)	11,661	13,018	1,357	
	当期収支差額(A) - (C)	1,339	1,679	340	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	0	1,339	1,339	